

蔵書でたどる

工学部の百年



写真上

帝国大学時代の蔵書印。

「東北帝国大学電気工学科図書」とある。

写真左

1930年（昭和5）頃の工学部

現在の片平キャンパス時代のもの。

会期 令和5年11月3日(金)~11月9日(木)

東北大学に工学部が設置されたのは1919年（大正8）。

一世紀を超える歴史のなかでどのように学問が息づいてきたのか、工学分館の所蔵資料を通してその一コマのぞいてみましょう。

百年前の教科書



工学部発

「談話会記録」

展示資料1 抜山平一 『電磁気学』 第1巻: 総論, 昭和3年 (1928)

およそ100年前の工学部の授業で使われた教科書。

展示資料2 「談話会記録」第18巻, 昭和24年 (1949)

工学部で発刊し、戦争による中断を乗り越え、GHQ統治下で復活した貴重な巻号。